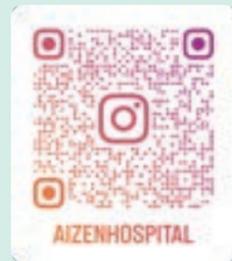


# 公式Instagram

2025年11月より、愛全病院の公式Instagramを開設しました。  
愛全病院での取り組みや行事、  
出来事を投稿しますのでぜひフォローを  
お願いいたします。

アカウント名「aizenhospital」で検索、  
または右のQRコードよりご覧ください。



# 広報誌「優」バックナンバー

愛全病院 広報誌「優」は2006年創刊号から  
最新号まで、愛全会のホームページよりご覧いただけます。



# 当院について

診療科目：内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科  
脳神経内科・リハビリテーション科・歯科

	月	火	水	木	金	
午前	1診	堀本	岡田(昌)	上杉	松井	井手
	2診	岡田(祐)	山田	宮本	岡本	
	3診		土橋	土橋		
	歯科	小崎	小崎	小崎	小崎	小崎
午後	1診	井手	堀本	木下	半田	半田
	2診	森谷		森谷	森谷	
	3診	藤田			藤田	
	歯科	小崎	小崎	小崎/橋	小崎	小崎



アクセス  
じょうてつバス「川沿12条2丁目」下車  
●地下鉄南北線[真駒内駅]から  
●JR札幌駅西口バス乗場  
●定山渓線又は豊平線温泉行(7番), 藤野4条5丁目行又は豊平行(7番)



医療法人愛全会 愛全病院  
〒005-0813  
札幌市南区川沿13条2丁目1番38号  
TEL:011-571-5670  
FAX:011-572-8005  
https://www.aizenkai.or.jp



# 優

愛全病院 広報誌  
2026 Winter Vol.23

生命を大切にする心  
思いやりを大切にする心  
学ぶことを大切にする心

- ～トピックス～
- 部署紹介 (薬剤科)
  - 主な行事・出来事

発行元：愛全病院 広報委員会  
撮影場所：札幌市南区藤野  
撮影者：佐野 純理菜

今回は『薬剤科』をご紹介します！

## 部署紹介



カプセルくん



薬剤科は、薬剤師と薬剤師の業務を支援する助手で構成されています。私たちは、患者様が安心して薬を使えるように、医師や看護師をはじめとする他の職種と連携しながら、安全な薬物療法の提供に取り組んでいます。

### ～お仕事内容～

#### ①患者様への入院前からのかわり

薬剤師は患者様の入院前から、他の職種と情報共有し、普段使用している薬の中に、特別な注意が必要な薬があるか確認し、事前に準備を整えることで、スムーズな入院と治療に繋がるよう努めています。

#### ②病棟業務

入院時に患者様が持参した薬の確認と管理、入院中の服薬指導(薬の説明、効果・副作用の確認等)を行います。また、病棟で使用している薬が正しく保管管理されているか確認し、患者様が安心して入院できるように他の職種と情報共有を行っています。

#### ③調剤業務

医師からの処方せん内容をもとに、年齢・体重・腎臓の働きに応じた投与量やのみ方、のみあわせによる影響等を確認し、調剤業務を行っています。

調剤は、全自動錠剤分包機を使用して複数の薬をのむタイミング毎に一袋にまとめ(一包化)、朝・昼・夕を別々な色で印字、更に薬の名称も印字することで、のみ間違いを防ぐ工夫をしています。

のみ込みが難しい方には、簡易懸濁法の導入、口の中ですぐ溶けるのみ込みやすい薬を選んだりする等、品質と使いやすさを考えながら情報提供します。



#### ④注射剤の混合調製業務

複数の注射剤を混ぜて調製する時には、薬剤科にあるクリーンベンチというきれいな空気を保つ機器を使用して、清潔な環境の中で調製を行っています。



#### ⑤医薬品情報管理業務(DI業務)

取扱いの難しい新しい薬が開発されているため、安全に薬を使用できるように、他の職種への情報提供、薬の情報誌「DIニュース」や院内医薬品集の作成等を行っています。

#### ⑥薬物血中濃度モニタリング(TDM)業務

体の中の薬の量を測ることができる一部の薬では、副作用がなく、治療効果が最大になるように薬物血中濃度を解析し、投与設計を行い、医師に情報提供することで治療のサポートを行っています。

#### ⑦チーム医療への参画

院内感染防止対策チームや、医療安全対策、栄養サポート、褥瘡対策、認知症ケア、排尿自立支援、身体的拘束最小化等の多職種で構成しているチーム医療に参画し、薬の専門職として職能を発揮しています。

高度な薬物医療や取扱いの難しい医薬品の使用が増える中、薬物治療を通して、患者様およびご家族が、住み慣れた地域で、笑顔で安心して暮らせるように支援していきます。

## 主な行事・出来事

### 【第2回 インターナショナル交流雪合戦】

2月14日、養護老人ホーム静山荘の庭園にて「インターナショナル交流雪合戦」が開催されました。札幌市内にお住まいの外国人や留学生など、9か国51名の方々が参加され、雪合戦を通じて北海道の冬の文化を体験していただきました。愛全会グループの有志が中心となり、多文化交流(SDGs)の温かなひとときを創りあげました。

晴天の冬空のもと、雪をまとった庭園には雪玉が飛び交い参加者の楽しそうな歓声が響き渡りました。初めての雪合戦に最初は戸惑う方もいましたが、「とても楽しかった」といった、笑顔があふれる、心に残る一日となりました。



### 【雪だるままつり】

2月20日、院内で「雪だるままつり」を開催いたしました。実際に雪を院内に運び込みミニ雪だるまを造り、参加された患者様にボタンや木の枝、毛糸などを使って飾りつけていただきました。

冷たい雪のひんやりとした感触と、かわいらしい雪だるまを作る楽しさに、皆さまの笑顔があふれ、冬の季節を感じるひとときとなりました。

完成した雪だるまたちは、かまぐら横に並べられ、ライトアップ。甘酒のやさしい香りが漂う中、幻想的な光に包まれた雪だるまたちを、皆さまでゆっくりと鑑賞しました。

触って冷たい、作って楽しい、飾って癒される雪だるまの力で患者様の心にも懐かしい冬の思い出がよみがえったのではないのでしょうか。

